

令和5年度のキーワード ○温かく厳しい学校 ○一人ひとりを大切にする学校 ○小学生があこがれる学校



一中だより

六ヶ所村立第一中学校
11月号
令和5年11月28日発行
文責：岩田 誠

修学旅行に行ってきました！！



11月7日(火)～10日(金)の3泊4日で2学年の修学旅行が実施されました。天候にも恵まれたようでもとても充実した旅行になったようです。今回の旅行では「AOsuki」という青森県出身の起業家の皆さんの話を聞くことができました。帰校後お礼状を書き、講話してくれた方々に送付していましたが、どの生徒の内容も「感謝の気持ち」と「これからの進路を真剣に考えたい」という思いが伝わってきました。

下の文は生徒の「修学旅行を振り返って」の感想文です。「楽しかった旅行を家族へも伝えたい」という思いが伝わってきて、とても素敵だと思ったので掲載します。

私が一番楽しかったのはライオンキングです。歌が鳥肌が立つくらすごかったです。AOsuki の人たちの話を聞いて、将来について考えることができました。たくさんのチャンスをつかみ取って自分の未来を広げたいです。

集合場所へ遅れずに集合できたので良かったです。家族に修学旅行の写真を見せてながながと語ってあげたいです。

このメンバーでの修学旅行はこれで最後なので充分楽しむことができました。

大きな事故もなく大成功の修学旅行だったと思います。なにより帰ってきたときの2年生の皆さん笑顔が素敵でした。お疲れさまでした。

郷土学習～村立郷土館訪問～



11月15・16・17日の3日間を使って、学年ごとに村立の郷土館を訪問し「郷土学習」を行いました。当日は「土偶・火起こし・せんべい焼き・館内見学・クイズラリー」の各グループに分かれて活動し、それぞれのグループで歓声があがっていました。特に写真左の火起こしでは「腕が痛い」と言いながら友達と協力して取り組んでいました。ふるさと六ヶ所の知らない一面に触れることができました。

余談ですが、竪穴式住居に入るときに「きたな~い。入りたくない」という言葉を発した生徒がいました。これには案内してくれた方も……の表情をしていました。

思春期ふれあい体験学習

11月10日におこなわれた思春期ふれあい体験学習では、妊娠中の成長過程を講義で学び、妊娠体験や赤ちゃんの抱っこの仕方、着替えの体験をおこないました。

妊娠体験では、一部の体力のある生徒はその重さをものともしない様子でしたが、胎内に命を抱えていることで運動や視界に制限がかからることを体感したことにより、将来のことを想像し真剣な態度で臨むことができました。また赤ちゃんの抱っこや着替えの体験では、弟や妹のいる生徒の手際がよく、よくお世話をしていたことが伝わってきました。一方で慣れない手つきの生徒も、赤ちゃんの名前を呼びながら丁寧に大切に扱おうとする姿がとても微笑ましく見えました。

この体験で子育ての大変さを感じた生徒がたくさんいたようです。日頃から保護者に感謝の言葉を述べができるようになればいいですね。

《12月の行事予定》

- 1日(金) 大清掃
- 6日(水) 参観日・PTA 専門委員会
- 7日(木)～15日(金) 三者面談
- 12日(火) 生徒会役員選挙
- 15日(金) スクールカウンセラー来校日

- 18日(月) 3年定着確認テスト
- 19日(火) 生徒朝会
- 20日(水) 職員会議
- 22日(金) 2学期終業式
- 23日(土)～1/14(日) 冬季休業

《お願い》

1・2年生のご家庭対象に「青森県子どもと保護者の生活習慣実態調査研究」のアンケートが来ました。封筒にて配付いたしますので内容をご確認の上、御協力いただけたら幸いです。よろしくお願いします。

赤い羽根共同募金



10月30日を皮切りに11月17日までの計9日間、学校とリーブを会場に「赤い羽根」の募金活動を行いました。今回の活動は生徒会から有志を募り、延べ人数で61人の生徒の皆さんが協力してくれました。

募金総額は30,995円でした。生徒の皆さん、保護者の方々、ご協力ありがとうございました。

